

令和2年8月28日(金)

# 新型コロナウイルス感染拡大による 歯科医師臨床研修への影響について

厚生労働省医政局歯科保健課

# 新型コロナウイルス感染症に係る歯科医師臨床研修に関する調査の概要

- 各臨床研修施設における新型コロナウイルス感染拡大による歯科医師臨床研修への影響を把握するため、単独型又は管理型臨床研修施設を対象として調査を行った。
- 回答は、267の臨床研修施設から得た。

## <調査概要>

調査目的：新型コロナウイルス感染拡大による歯科医師臨床研修への影響を把握する。

調査対象：単独型又は管理型臨床研修施設（330施設）

調査方法：厚生労働省から地方厚生局を通じ各臨床研修施設へ調査票を送付し、各臨床研修施設は調査票を厚生労働省へ提出する。

調査時期：令和2年7月15日～7月31日

調査項目：

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による診療体制の縮小等の対応の有無と、対応した場合その内容
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による研修歯科医の自宅研修期間の有無と、自宅研修期間があった場合情報通信機器の活用状況
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響による研修プログラムの運用状況
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修プログラムの変更を行った研修歯科医の有無

## <回収状況>

対象施設数	回収数	回収率
330	267	80.9%

## <参考>

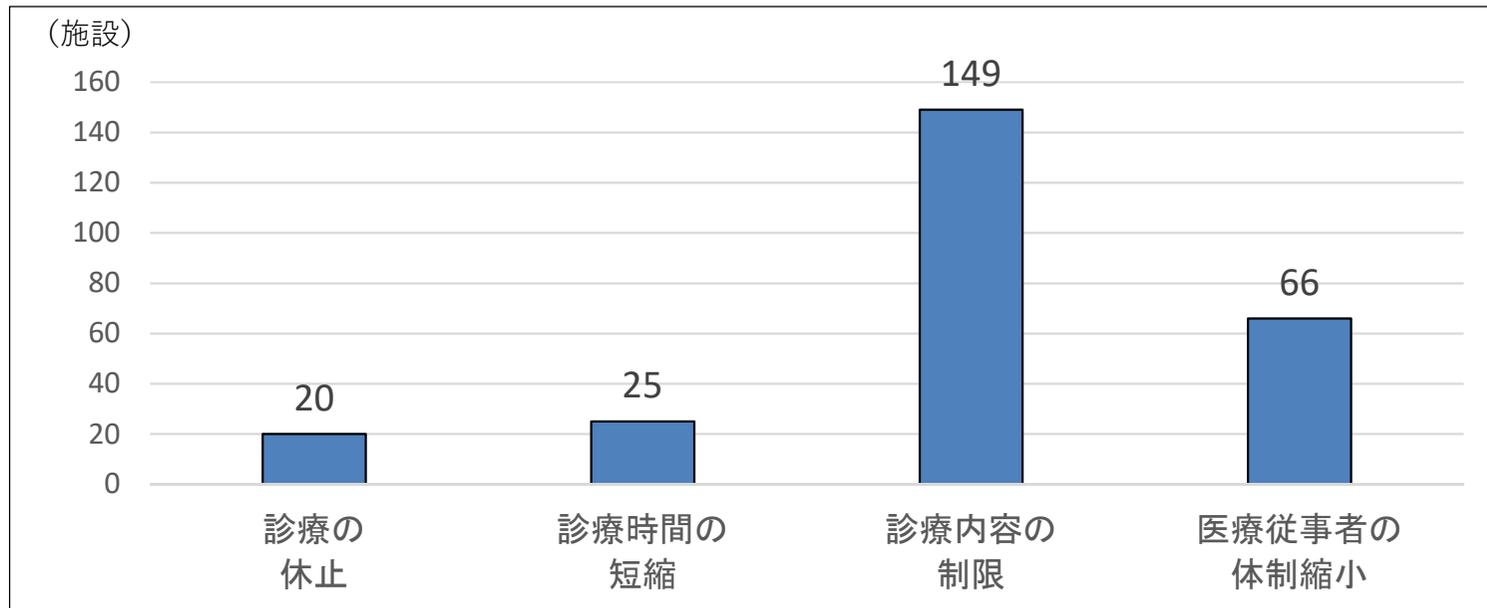
調査に回答した臨床研修施設の令和2年度研修歯科医受入れ状況（受入れ状況報告をもとに歯科保健課にて確認）

受入れあり	受入れなし
226	41

# 調査の結果の概要（診療体制縮小等の対応について）

- 新型コロナウイルス感染症の影響による対応のうち、最も多かったのは診療内容の制限であった。
- 診療を休止した臨床研修施設の休止期間は、4週間以上が最も多く7施設だった。

## 診療体制の縮小等の対応状況（複数回答）



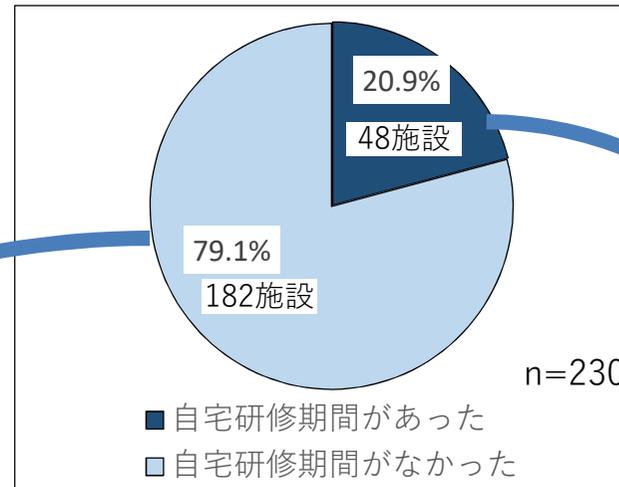
## 診療を休止した場合、その期間

	1週間以内	1週間以上 2週間以内	2週間以上 4週間以内	4週間以上
臨床研修 施設数	3	5	1	7

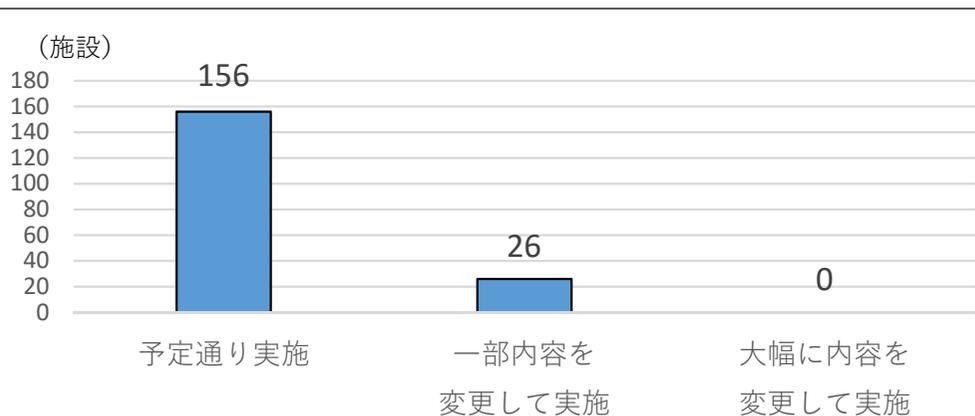
# 調査の結果の概要（自宅研修期間の有無とその対応について）

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、研修歯科医の自宅研修期間がなかった臨床研修施設は79.1%であった。
- 自宅研修期間があった臨床研修施設のうち、37施設において情報通信機器を活用した研修を実施していた。
- 自宅研修期間がなかった臨床研修施設のうち、156施設において予定通り歯科医師臨床研修が行われていた。

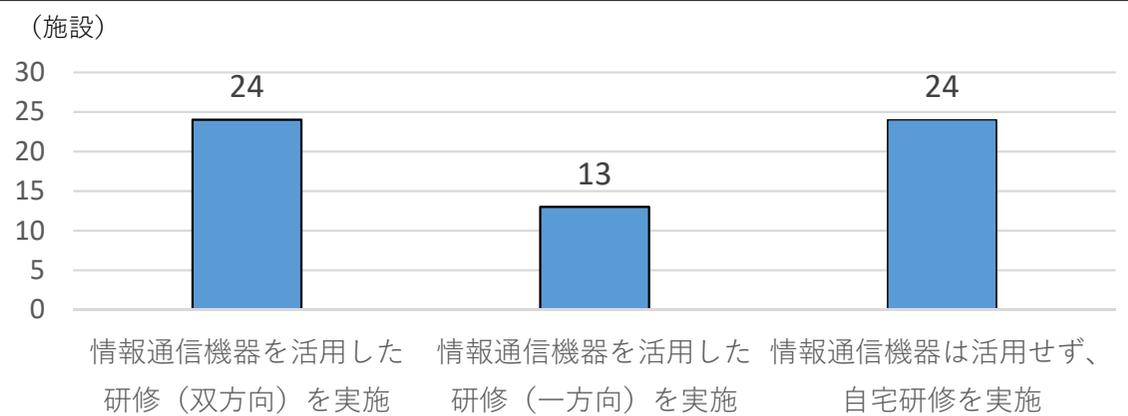
自宅研修期間の有無別臨床研修施設の割合及び施設数



自宅研修期間がなかった場合、研修の内容の変更



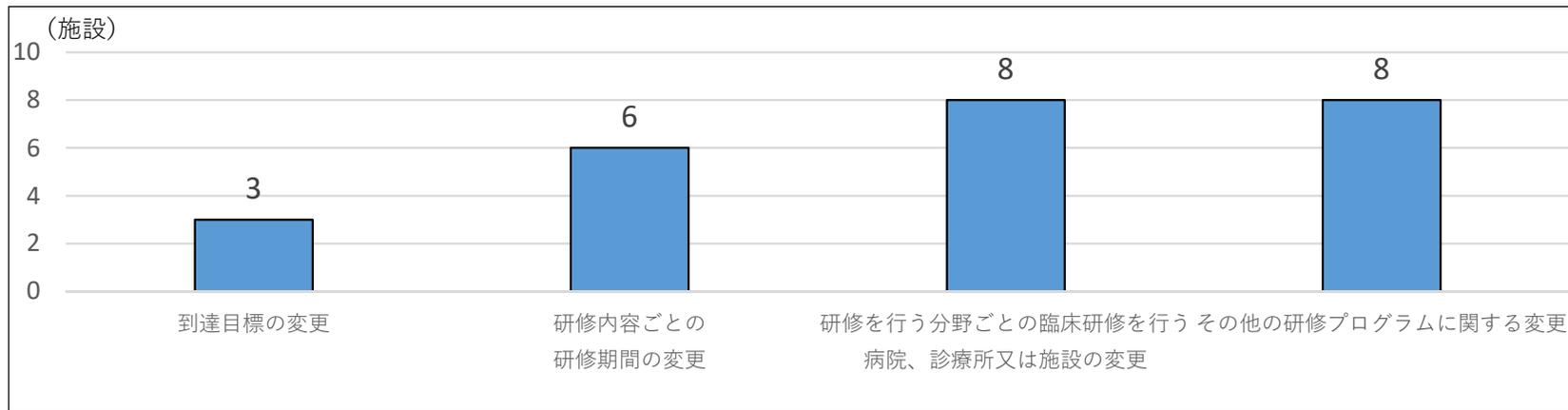
自宅研修期間があった場合、情報通信機器の活用状況（複数回答）



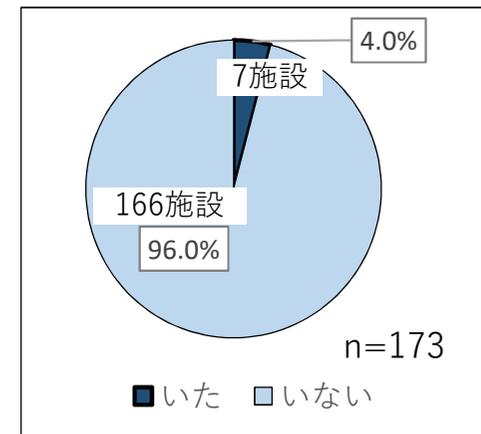
# 調査の結果の概要（プログラムの変更等について）

- 新型コロナウイルス感染症の影響による臨床研修プログラムの内容の変更等の対応のうち、最も多かったのは研修を行う分野ごとの臨床研修を行う病院、診療所又は施設の変更であった。
- 研修プログラムの変更を行った研修歯科医がいた臨床研修施設は、4.0%であった。

臨床研修プログラムの内容の変更等の対応について（複数回答）



研修プログラムの変更を行った研修歯科医の有無



臨床研修施設の種別にみた臨床研修プログラムの内容変更等の対応

臨床研修施設の種別		臨床研修プログラムの内容変更等の対応				研修プログラムの変更を行った研修歯科医がいた臨床研修施設
		到達目標の変更	研修内容ごとの研修期間の変更	研修を行う分野ごとの臨床研修を行う病院、診療所又は施設の変更	その他の研修プログラムに関する変更	
歯学部・歯科大学に附属する	病院	1	2	4	6	4
	診療所			1		1
それ以外の	病院	2	4	3		1
	診療所				2	1

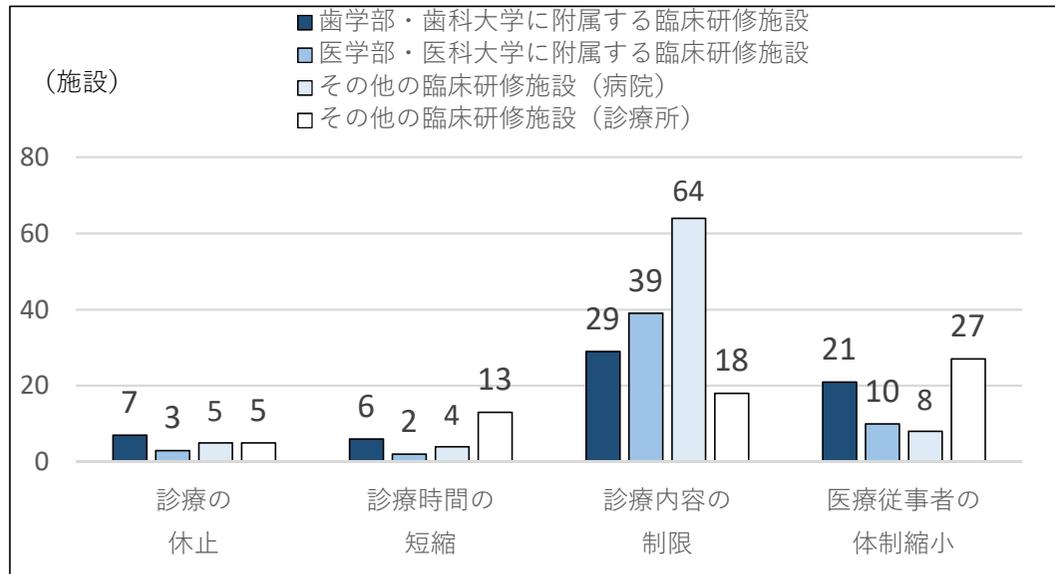
# 調査の結果の概要（歯学部附属・医学部附属・その他別クロス集計）①

- 歯学部・歯科大学に附属する病院又は診療所、医学部・医科大学に附属する病院又は診療所、その他の臨床研修施設（病院）、その他の臨床研修施設（診療所）に分けてクロス集計を行った。
- 診療体制の縮小等の対応について、いずれの臨床研修施設でも診療内容の制限が最も多かった。
- 診療を休止した臨床研修施設の休止期間は、歯学部・歯科大学に附属する病院又は診療所では4週間以上が最も多いが、医学部・医科大学病院に附属する臨床研修施設では1週間以上2週間以内が最も多かった。

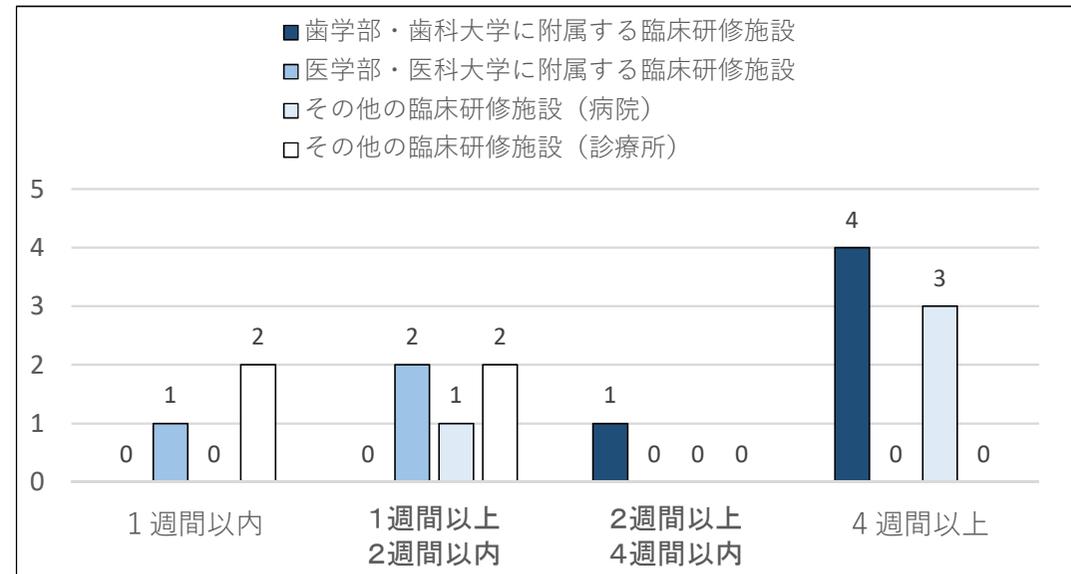
## 種別の施設数

種別	施設数
歯学部・歯科大学に附属する臨床研修施設	35
医学部・医科大学に附属する臨床研修施設	52
その他の臨床研修施設（病院）	121
その他の臨床研修施設（診療所）	59

## 診療体制の縮小等の対応状況（複数回答）



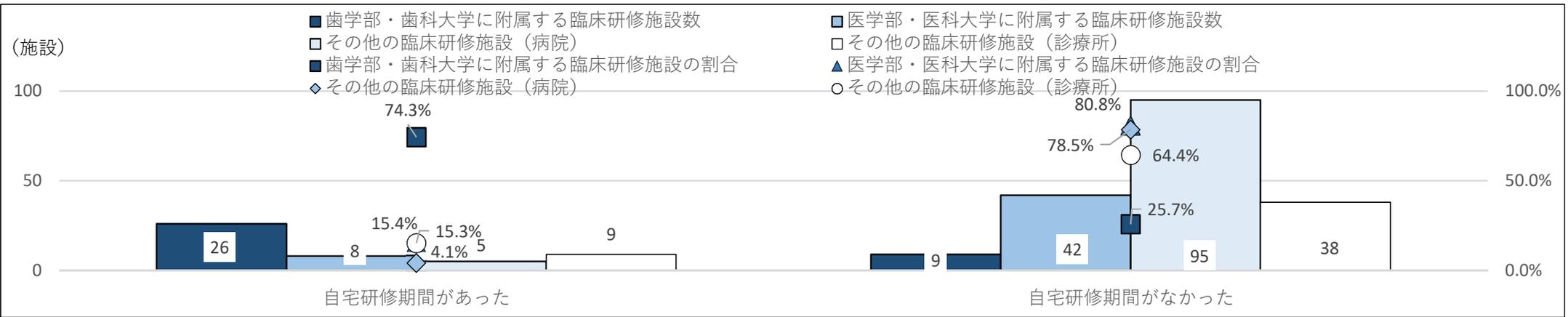
## 診療を休止した場合、その期間



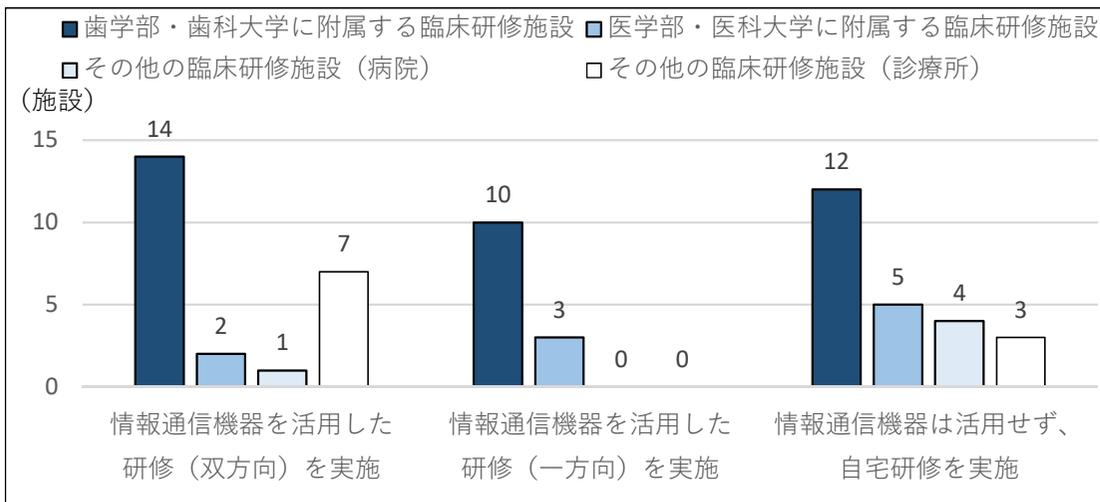
# 調査の結果の概要（歯学部附属・医学部附属・その他別クロス集計）②

- 自宅研修期間の有無をみると、歯学部・歯科大学に附属する臨床研修施設の74.3%が自宅での研修期間を設けていたが、医学部・医科大学に附属する臨床研修施設及びその他の臨床研修施設では、それぞれ15.4%、7.8%にとどまった。
- 情報通信機器の活用状況をみると、歯学部・歯科大学に附属する臨床研修施設で活用している臨床研修施設数が多かった。

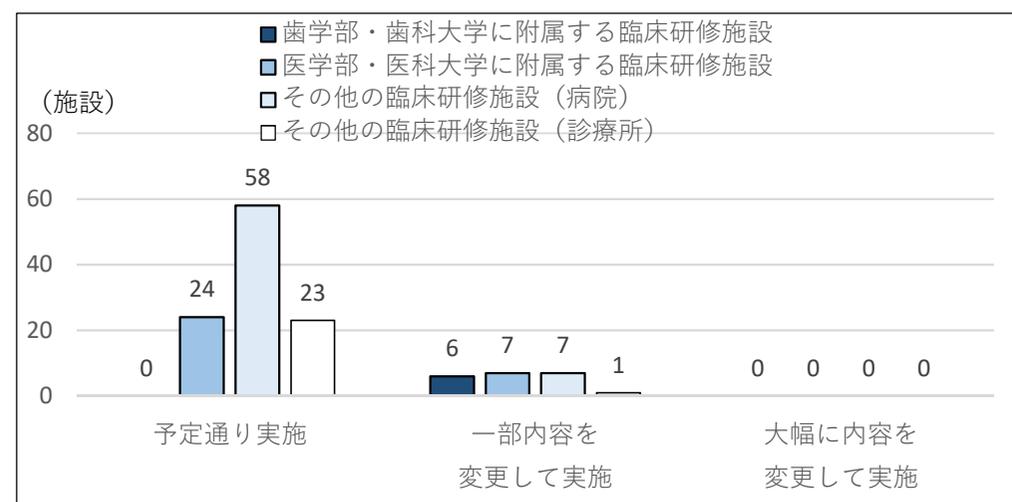
## 自宅研修期間の有無別臨床研修施設数



## 自宅研修期間があった場合、情報通信機器の活用状況（複数回答）



## 自宅研修期間がなかった場合、研修の内容の変更



# 調査の結果の概要（臨床研修施設所在地別クロス集計）①

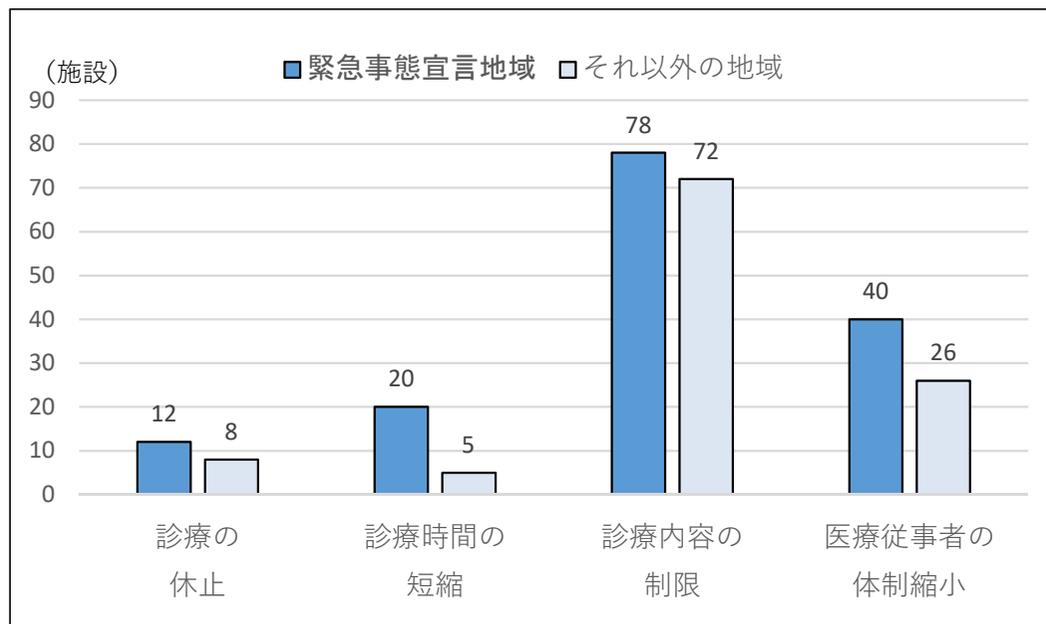
- 緊急事態宣言が長期間出ていた都道府県に所在する臨床研修施設とそれ以外の臨床研修施設に分けてクロス集計を行った。
- 診療体制の縮小等の対応について、いずれの臨床研修施設でも診療内容の制限が最も多かった。
- 診療を休止した臨床研修施設の休止期間は、いずれも4週間以上が最も多かった。

## 臨床研修施設所在地別施設数

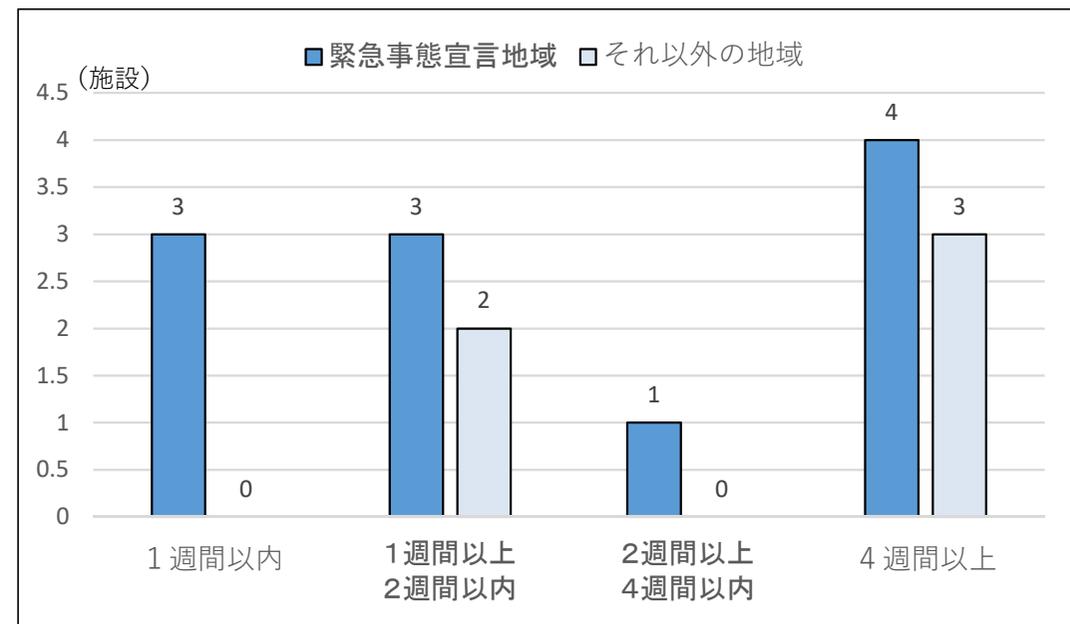
種別	施設数
緊急事態宣言が長期間出ていた都道府県（※）の臨床研修施設	133
それ以外の地域の臨床研修施設	134

※北海道、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、京都府、大阪府、兵庫県、福岡県

## 診療体制の縮小等の対応状況（複数回答）



## 診療を休止した場合、その期間



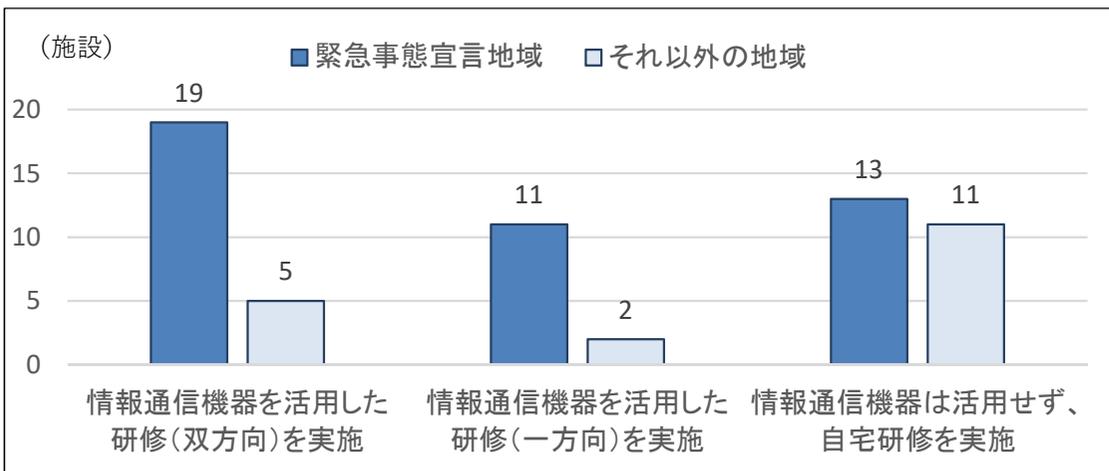
# 調査の結果の概要（臨床研修施設所在地別クロス集計）②

- 自宅研修期間の有無をみると、自宅研修期間があった臨床研修施設は、緊急事態宣言が長期間出ていた地域では25.6%、それ以外の地域では10.5%だった。
- 情報通信機器の活用状況をみると、緊急事態宣言が長期間出ていた地域においては、情報通信機器を活用した研修が多く行われていた。

## 自宅研修期間の有無別臨床研修施設数



## 自宅研修期間があった場合、情報通信機器の活用状況（複数回答）



## 自宅研修期間がなかった場合、研修の内容の変更

